

業績説明会資料

2025年3月期(2024年度)
第2四半期(中間期)決算

2024年11月20日

 **日油** 株式会社

おはようございます。

社長の沢村でございます。

本日は、ご多忙の中、当社の業績説明会にご参加賜りまして、誠にありがとうございます。また、平素は格別のご高配をいただいておりますこと、あらためて感謝申し上げます。

それでは、2025年3月期第2四半期決算についてご説明いたします。

目次

1. 2024年度 上期業績	P4 ~ 9
2. 2024年度 通期業績予想	P11 ~ 18

説明内容をお示しします。

目次

1. 2024年度 上期業績	P4 ~ 9
2. 2024年度 通期業績予想	P11 ~ 18

はじめに2024年度上期業績についてご説明いたします。

連結損益計算書

- ◆ 機能化学品事業は好調に推移
- ◆ 医薬・医療・健康事業はDDS医薬用製剤原料が一時的な需要の踊り場

[単位:億円]

	2023年度 上期	2024年度 上期	増減額	増減率
売上高	1,018	1,105	+87	+8.5%
売上総利益	380	425	+45	+11.8%
(売上総利益率)	(37.4%)	(38.5%)		
販売費・管理費	180	192	+12	
営業利益	201	233	+33	+16.3%
(営業利益率)	(19.7%)	(21.1%)		
営業外損益	22	3	▲20	
経常利益	223	236	+13	+5.9%
特別損益	12	8	▲4	
税金等調整前中間純利益	234	244	+9	+3.9%
法人税・調整額他	71	73	+2	
当期純利益※	163	170	+7	+4.2%

※当期純利益=親会社株主に帰属する中間純利益

連結損益計算書についてご説明いたします。

2024年度上期は、医薬・医療・健康事業のDDS医薬用製剤原料が一時的な需要の踊り場となったものの、機能化学品事業が好調に推移し、前年同期比にて売上高は、プラス87億円、8.5%増収の1,105億円、営業利益は、プラス33億円、16.3%増益の233億円、経常利益は、プラス13億円、5.9%増益の236億円、法人税などを差し引いた当期純利益はプラス7億円、4.2%増益の170億円となりました。

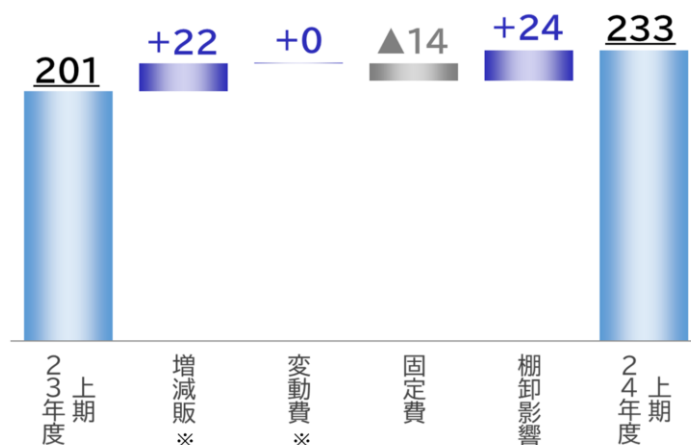
売上高、営業利益、経常利益は上期として過去最高を更新いたしました。次に、連結営業利益の差異内訳についてご説明いたします。

5枚目のスライドをご覧ください。

連結営業利益の差異内訳

2024年度上期実績 対 2023年度上期実績

[単位:億円]



※増減販及び変動費には、計+ 9億円の為替影響を含む

2024年度上期連結営業利益について、対前年同期の差異要因をグラフにお示しいたします。

前年同期に対し、増減販でプラス22億円、固定費の増加によりマイナス14億円、棚卸影響がプラス24億円で、連結営業利益は33億円の増益となりました。

続いて、セグメント別の説明に移ります。

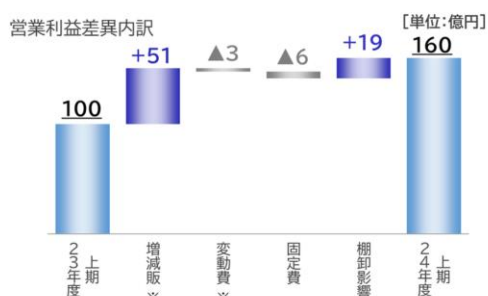
6枚目のスライドをご覧ください。

機能化学品事業

2024年度上期の概況

[単位:億円]

	2023年度 上期	2024年度 上期	増減額
売上高	637	755	+118
営業利益	100	160	+60
(営業利益率)	(15.7%)	(21.3%)	



※増減販及び変動費には、計+2億円の為替影響を含む

- ◆ 増収増益
- ◆ 化粧品関連および自動車関連が好調に推移

概況

・界面活性剤

⇒トイレタリー関連の需要好調
化粧品関連はスキンケア需要回復傾向とともに、一部顧客の在庫積み増し需要もあり好調

・特殊防錆処理剤

⇒国内外向け自動車関連の需要好調

・機能化学品全般

⇒一部低調な製品があるものの概ね堅調

機能化学品事業について、前年同期比較でご説明いたします。

上期の機能化学品事業は、売上高は118億円増収の755億円、営業利益は60億円増益の160億円となりました。

上期営業利益60億円の差異内訳について、増減販は化粧品関連および自動車関連の需要が好調に推移したことによる増販でプラス51億円、変動費の増加によりマイナス3億円、労務費などの固定費の増加によりマイナス6億円、棚卸影響がプラス19億円となりました。

7枚目のスライドをご覧ください。

2024年度上期の概況

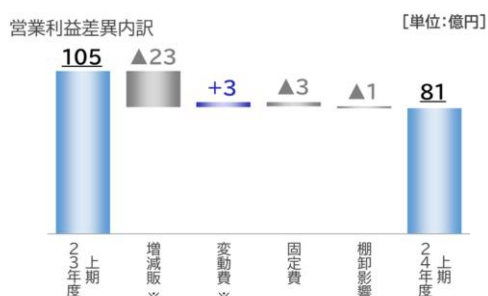
[単位:億円]

	2023年度 上期	2024年度 上期	増減額
売上高	264	230	▲34
営業利益	105	81	▲24
(営業利益率)	(39.8%)	(35.1%)	

- ◆ 減収減益
- ◆ DDS医薬用製剤原料は一時的な需要の踊り場

概況

- ・DDS医薬用製剤原料
⇒一部顧客における在庫調整による出荷減少
欧米での金融引締めの影響による臨床開発の遅延
- ・食用加工油脂・食品機能材
⇒製品統廃合および食品機能材の拡販
- ・生体適合性素材
⇒MPC関連製品の需要が堅調に推移



※増減販及び変動費には、計+ 8億円の為替影響を含む

上期の医薬・医療・健康事業は、売上高は 34億円減収の230億円、営業利益は24億円減益の81億円となりました。

上期営業利益24億円の差異内訳について、増減販はDDS医薬用製剤原料において、一部顧客における在庫調整による出荷減少に加え、欧米での金融引締めの影響によりバイオベンチャーへの資金流入減が継続していることによる臨床開発の遅延により、一時的な需要の踊り場となり、マイナス23億円、変動費の減少によりプラス3億円、労務費などの固定費の増加によりマイナス3億円、棚卸影響がマイナス1億円となりました。

8枚目のスライドをご覧ください。

化薬事業

2024年度上期の概況

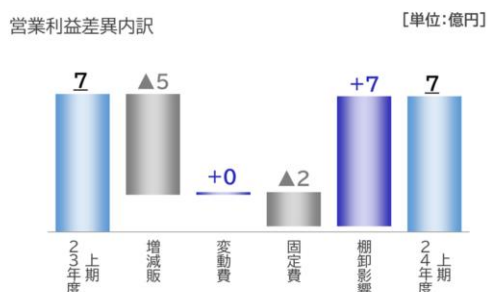
[単位:億円]

	2023年度 上期	2024年度 上期	増減額
売上高	114	117	+2
営業利益	7	7	▲0
(営業利益率)	(6.5%)	(6.2%)	

- ◆ 増収減益
- ◆ 概ね堅調に進捗

概況

- ・防衛関連製品
⇒売上高は減少(通期計画どおりに進捗)
- ・宇宙関連製品
⇒ロケット向け製品の出荷が増加
- ・産業用爆薬類
⇒需要が低調に推移
- ・機能製品
⇒需要が好調に推移



上期の化薬事業は、売上高は2億円増収の117億円、営業利益は前年同期並みの7億円となりました。

上期営業利益の差異内訳について、増減販は主に防衛関連製品の減販によりマイナス5億円、労務費などの固定費の増加によりマイナス2億円、棚卸影響によりプラス7億円となりました。

9枚目のスライドをご覧ください。

2024年度上期 前年同期比の業績動向(主要製品)

セグメント	主要製品	売上高	営業利益	業績動向
機能化学品	界面活性剤	▲	▲	トイレタリーおよび化粧品関連の需要が好調に推移し増益
	特殊防錆処理剤	▲	▲	国内外で自動車関連の需要が好調に推移し増益
	脂肪酸誘導体	▲	▲	中国における冷凍機用潤滑基材の出荷が堅調に推移し増益
医薬・医療・健康	DDS医薬用製剤原料	▼	▼	一部顧客の在庫調整や欧米での金融引締めの影響による臨床開発遅延により、一時的な需要の踊り場を迎え減益
	食用加工油脂・食品機能材	▲	▲	製品統廃合および食品機能材の拡販により収益性改善し増益
化薬	防衛関連製品	▼	▼	出荷が減少し減益
	宇宙関連製品	▲	▲	ロケット向け製品の出荷が増加し増益

主要製品の業績動向についてご説明いたします。

機能化学品事業では、界面活性剤はトイレタリーおよび化粧品関連の需要が好調に推移し増益となりました。

特殊防錆処理剤は、国内外で自動車関連の需要が好調に推移し増益となりました。

脂肪酸誘導体は中国における冷凍機用潤滑基材の出荷が堅調に推移し増益となりました。

医薬・医療・健康事業では、DDS医薬用製剤原料は、一時的な需要の踊り場となり減益となりました。

食用加工油脂・食品機能材については、製品統廃合を進めたことおよび食品機能材の拡販により増益となりました。

化薬事業では、防衛関連製品の出荷が減少し減益となりました。

宇宙関連製品については、ロケット向け製品の出荷が増加し増益となりました。

10枚目のスライドをご覧ください。

目次

1. 2024年度 上期業績	P4 ~ 9
2. 2024年度 通期業績予想	P11 ~ 18

続いて2024年度 通期業績予想についてご説明いたします。

2024年度想定事業環境

事業環境：国内の景気は緩やかに回復しているものの、
原燃料価格高止まりや急激な為替変動
中国経済停滞の長期化

		2023年度 実績	2024年度 前回想定 (5/9)	2024年度 今回想定 (11/7)
パーム油 ※	US\$/MT	907	1,050	1,000
国産ナフサ	円/KL	69,050	76,000	78,000
為替レート	円/US\$	144	145	150
	円/EUR	156	155	160

※FOBマレーシア

2024年度における当社グループを取り巻く事業環境です。

国内の景気は緩やかに回復しているものの、原燃料価格の高止まりや急激な為替変動、中国経済停滞の長期化による下振れの影響が懸念される状況にあります。

このような状況下、足元の原料価格や為替動向なども踏まえ、ご覧の通り設定を見直しました。

12枚目のスライドをご覧ください。

2024年度業績予想の概要

[単位:億円]

	2023年度 実績	2024年度 前回予想 (5/9)	2024年度 今回修正予想 (11/7)	前回予想から の増減額	前回予想から の増減率
売上高	2,223	2,320	2,390	+70	+3.0%
営業利益	421	405	430	+25	+6.2%
(営業利益率)	(19.0%)	(17.5%)	(18.0%)		
経常利益	456	416	438	+22	+5.3%
当期純利益※	340	330	349	+19	+5.8%
1株当たり 当期純利益	141.2円	138.1円	146.5円	+8.4円	

※当期純利益=親会社株主に帰属する当期純利益

2024年度連結業績予想の概要をお示しいたします。

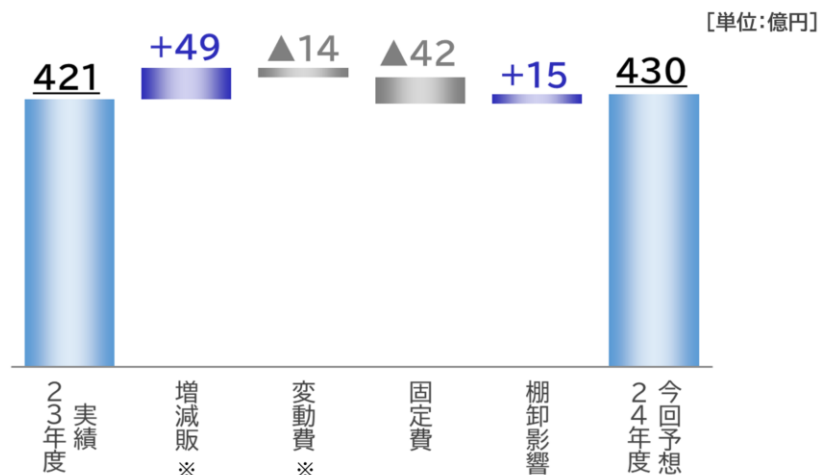
売上高は、前回予想から70億円増収の2,390億円、営業利益は、25億円増益の430億円、経常利益は、22億円増益の438億円、当期純利益は、19億円増益の349億円とそれぞれ前回予想から上方修正いたしました。

一株当たり当期純利益は146.5円を見込んでおります。

13枚目のスライドをご覧ください。

連結営業利益の差異内訳

2024年度今回予想【11/7】 対 2023年度実績



※増減販及び変動費には、計7億円の為替影響を含む

2024年度連結営業利益について、今回修正予想と前年度実績の差異要因をグラフにお示しいたします。

グラフ左の2023年度営業利益421億円に対し、増減販でプラス49億円、変動費の増加によりマイナス14億円、固定費の増加によりマイナス42億円、棚卸影響でプラス15億円を見込み、2024年度営業利益は9億円増益の430億円の見通しです。

続いて、セグメント別の説明に移ります。

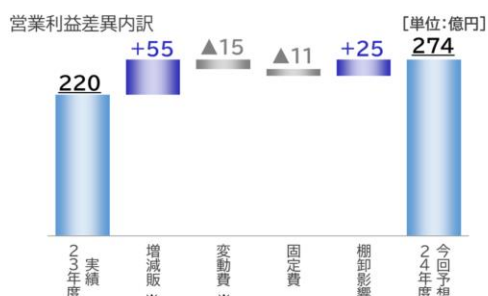
14枚目のスライドをご覧ください。

機能化学品事業

2024年度通期見通し

[単位:億円]

	2023年度 実績	2024年度 今回修正予想	増減額
売上高	1,336	1,486	+150
営業利益	220	274	+54
(営業利益率)	(16.5%)	(18.5%)	



※増減販及び変動費には、計+1億円の為替影響を含む

- ◆ 増収増益
- ◆ 化粧品関連製品の需要好調

概況

・界面活性剤

⇒化粧品関連にて需要好調であるものの、一部顧客の在庫積み増しの反動減を見込む

・特殊防錆処理剤

⇒海外向け自動車関連の需要堅調

・機能化学品全般

⇒一部低調な製品があるものの概ね堅調

次に、セグメントごとの2024年度予想について前年同期比較でご説明いたします。まず、機能化学品事業です。

通期の機能化学品事業は、売上高は150億円増収の1,486億円、営業利益は54億円増益の274億円となる見込みです。主に化粧品関連製品の需要好調により大きく増収増益となる見込みです。

通期営業利益54億円の差異内訳は、化粧品関連製品の需要好調および機能化学品事業全般として概ね堅調に推移することにより増減販はプラス55億円、原燃料価格の高騰と販売価格改定の影響を含む変動費の増加により、マイナス15億円、固定費の増加によりマイナス11億円、棚卸影響がプラス25億円となります。

なお、化粧品関連製品については、通期で需要好調を見込むものの上期に一部顧客の在庫積み増しによる出荷があったため、下期は反動減を見込んでおります。

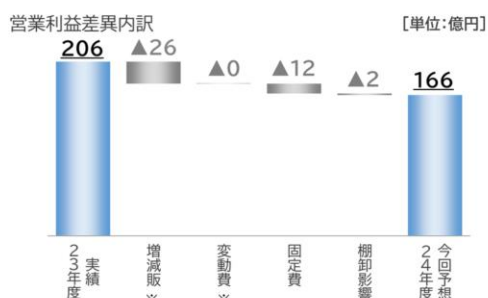
機能化学品事業においては、化粧品関連をはじめとした成長需要を獲得していくとともに、引き続き新しい価値の創出、新しい市場への製品展開を加速させてまいります。

15枚目のスライドをご覧ください。

2024年度通期見通し

[単位:億円]

	2023年度 実績	2024年度 今回修正予想	増減額
売上高	540	497	▲43
営業利益	206	166	▲40
(営業利益率)	(38.1%)	(33.4%)	



※増減販及び変動費には、計+7億円の為替影響を含む

- ◆ 減収減益
- ◆ DDS医薬用製剤原料が一時的な需要の踊り場

概況

- ・DDS医薬用製剤原料
⇒一部顧客における在庫調整による出荷減少
欧米での金融引締めの影響による臨床開発の遅延
- ・食用加工油脂・食品機能材
⇒製品統廃合および食品機能材の拡販
- ・生体適合性素材
⇒MPC関連製品の需要堅調に推移

次に、医薬・医療・健康事業です。

通期の医薬・医療・健康事業は、売上高は43億円減収の497億円、営業利益は40億円減益の166億円となる見込みです。

食用加工油脂・食品機能材において製品統廃合や食品機能材の拡販により収益性を高め、生体適合性素材においては需要堅調であるものの、DDS医薬用製剤原料が一部顧客における在庫調整による出荷減少に加え、欧米での金融引締めの影響によりバイオベンチャーへの資金流入減が継続していることによる臨床開発の遅延により、一時的な需要の踊り場となり、減収減益となる見込みです。

通期営業利益40億円の差異内訳は、増減販は、DDS医薬用製剤原料の減販でマイナス26億円、戦略投資などによる固定費の増加によりマイナス12億円、棚卸影響がマイナス2億円となります。

のちほどライフサイエンス事業部長の山本より、DDS事業の展開についてご説明いたします。DDS医薬用製剤原料は2024年度は一時的な需要の踊り場となるものの、2030年度に向けて年平均成長率10%を超えて成長させる計画に変更はなく、革新的なソリューションを提供し、引き続き世界の医薬および医療業界の発展に貢献してまいります。

16枚目のスライドをご覧ください。

化薬事業

2024年度通期見通し

[単位:億円]

	2023年度 実績	2024年度 今回修正予想	増減額
売上高	341	402	+61
営業利益	26	27	+1
(営業利益率)	(7.7%)	(6.7%)	

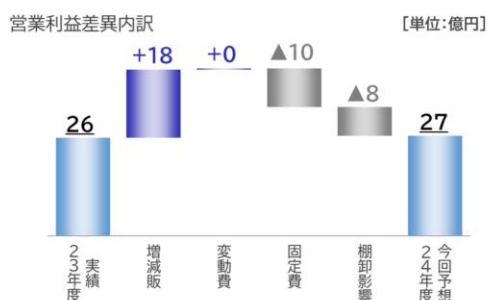
- ◆ 増収増益
- ◆ 防衛関連製品の売上高が増加

概況

・防衛関連製品
⇒ 順調な製品の納入

・宇宙関連製品

⇒ H3ロケットは、2024年11月4日に4号機の打上が成功
国内基幹ロケットの固体ロケットブースターを出荷



次に、化薬事業です。通期の化薬事業は、売上高は61億円増収の402億円、営業利益は1億円増益の27億円となる見込みです。

主に防衛関連製品の売上高が増加するものの、前年度営業利益を底上げた棚卸影響が今年度は発生しないため、営業利益は微増益にとどまる見込みです。

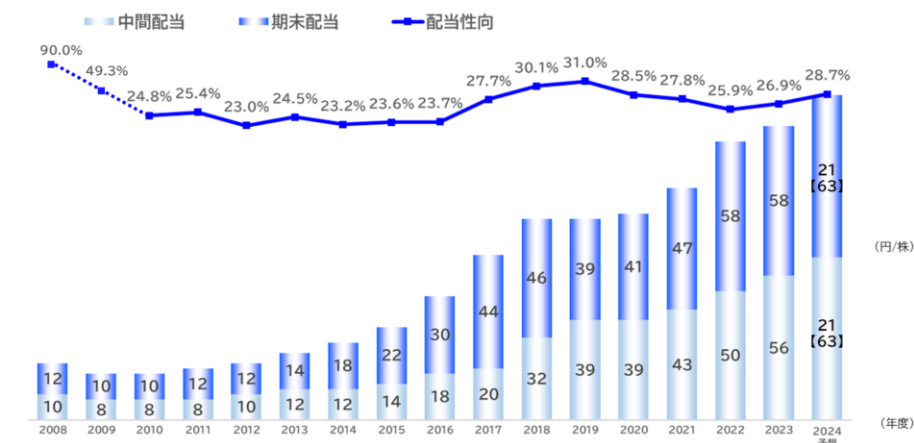
通期営業利益1億円の差異内訳は、増減販は防衛関連製品の増加によりプラス18億円、労務費や生産活動の活発化などによる固定費の増加によりマイナス10億円、棚卸影響がマイナス8億円となります。

化薬事業においては、防衛予算増加へ向け当社グループに期待される役割を着実に進めてまいります。

17枚目のスライドをご覧ください。

2024年度配当

- ◆2024年度の年間配当は、42円(前回予想比2円増配)に上方修正
- ◆2009年度以降、着実に累進配当を継続



(注)当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2017年度中間配当以前の配当金について、普通株式2株につき1株の割合で株式併合した場合の額を記載しております。また、2024年4月1日付で普通株式1株を3株に分割を行っております。2024年度予想の【】内は、分割前換算額を記載しております。またグラフは、分割前換算額により作成しております。

配当および配当性向の推移をグラフにてお示いたします。

2024年度の間配当は21円、期末配当は21円を予想しており、年間配当は前回予想に比べ2円増配の42円に上方修正いたしました。配当性向は28.7%となる見込みです。

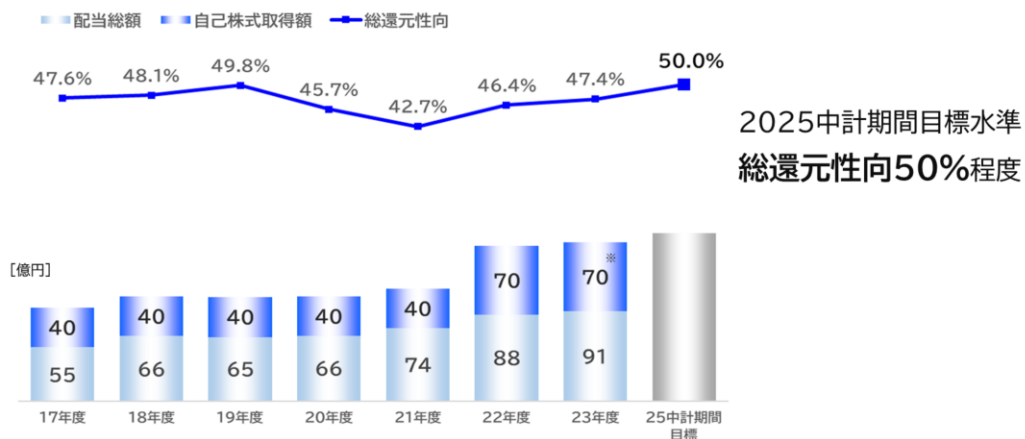
2009年度以降、累進配当を継続しており、今後も安定的な配当の維持継続を基本に考えております。

18枚目のスライドをご覧ください。

株主還元 総還元性向

自己株式50億円取得(2024年11月8日~2024年12月31日)

資本効率向上を意識した株主還元を実施、戦略投資とのバランスを取りながら株主還元の維持向上に努める



※23年度の自己株式取得額は、2024年5月9日決定の20億円取得(2024年5月10日~2024年6月28日)を含む

総還元性向の推移についてお示しいたします。

株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと認識しており、安定的な配当の維持継続と併せて、自己株式取得も株主還元として実施してまいります。なお、2024年11月8日から12月31日にかけて、総額50億円を上限として自己株式を取得してまいります。

総還元性向50%程度を目標水準とし、引き続き資本効率向上を意識し、戦略投資とのバランスを取りながら、必要に応じて自己株式を取得し、今後も安定的な利益還元を実施してまいります。

- ・本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。
- ・本資料の金額表示は、億円未満を四捨五入しております。

お問い合わせ先： 日油株式会社
コーポレート・コミュニケーション部 IR室 佐藤 一大
住 所： 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
電 話： 03-5424-6651
F A X： 03-6634-6471
E - m a i l： iroffice@nof.co.jp
ホ ー ム ペ ー ジ： <https://www.nof.co.jp>

ご説明は以上となります。ありがとうございました。
つづきまして、山本よりご説明させていただきます。